I-O DATA

メモリカード 取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しくご利用いただくために、本取扱説明書をよくお読みください。

1．安全上のご注意　必ずお守りください。

●本製品を安全にお使いいただくために下記に示す注意事項を必ずお読みください。
●本製品は精密な電子部品で構成されています。性能を十分に発揮するため、保管や取り扱いに際しては下記の点にご注意ください。

本書では、本製品を安全にお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように表示して説明しています。

⚠警告	人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

行為を禁止する記号	
行為を指示する記号	

⚠ 警告

●長時間使用すると熱くなることがありますので、取り扱いに十分注意してください。

●本製品の分解や改造をしないでください。
火災、感電、動作不良の原因となります。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

●煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
パソコンや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

●本製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合は使用しないでください。
ショートによる火災や感電の恐れがあります。

⚠ 注意

●本製品は精密電子機器ですので、強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で使用、保管しないでください。

●データの書き込み・読み込み中に、振動や衝撃を与えたり、PCカードスロットから取り出さないでください。
データが破壊されたり、消失する恐れがあります。

●本製品を、曲げる、強い力やショックを加える、落とす、上に重い物をのせることはしないでください。

●振動や衝撃が加わる場所、直射日光のあたる場所、チリやほこりの多い場所、高温多湿の場所、温度差の激しい場所、スピーカ等の強い磁気の近くでの使用および保管はしないでください。

●ズボンのポケットなどに入れないでください。
座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。

ご注意

●本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用又はこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
●本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
●本製品のデータの回復作業はお受けしておりません。
大切なデータは別のメディア(MOディスク、ハードディスクなど)に定期的にバックアップを行ってください。
●本製品のデータが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
●フォーマットはデジタルカメラ、オーディオ等ご使用のデバイス側で必ず行ってください。
パソコンでフォーマットした場合、デジタルカメラ、オーディオ等で使用できなくなる場合があります。

・I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
・Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
・Apple, iMac, iBook, Mac, PowerMacintosh, PowerBookは、米国およびその他の国で登録された米国Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
・その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

2．箱を開けたら

●外箱に記載されている内容物が入っていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

3．製品情報について

デジタルカメラや携帯端末の対応等の最新製品情報は弊社製品カタログまたは、以下のホームページを参照してください。

http://www.iodata.jp/

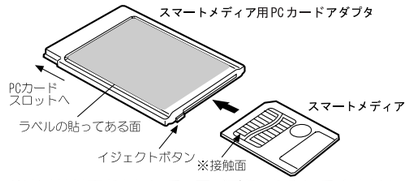
4．本製品の説明と使い方について

使用方法について

●デジタルカメラ、オーディオ等で使用する場合
本製品をデジタルカメラ、オーディオ等で使用する場合は各機器の取扱説明書を参照してください。
●パソコンで使用する場合
①使用するOS、パソコンによって以下の説明をお読みください。
・Windows Me/98/95　→6. Windows Me/98/95で使用する場合
・Windows XP/2000　→7. Windows XP/2000で使用する場合
・Apple Macintosh PowerBook　→8. Apple Macintosh PowerBookで使用する場合
・Windows CE　→9. Windows CEで使用する場合
②本取扱説明書の各製品説明をお読みください。
③パソコンからの取り出し方は「5. PCカードの取り出し方」を参照してください。
④スマートメディア、コンパクトフラッシュをパソコンで使用する場合については、スマートメディア用PCカードアダプタ、コンパクトフラッシュ用PCカードアダプタの使用を想定して説明しています。その他の機器で使用する場合は各機器の取扱説明書を参照してください。

スマートメディア™

■スマートメディアアダプタ
パソコンで使用する場合スマートメディア用PCカードアダプタを使用することによりTYPE Ⅱ PCカードとして使用できます。



※必ず接触面を上にして、アダプタへ挿入してください。

①スマートメディアをPCカードアダプタに挿入します。
メディアが挿入されるとイジェクトボタンが飛び出します。
②パソコンに挿入します。
挿入し認識されたら、画面の指示に従ってドライバのインストールをします。一度認識されると2回目からは挿入するだけで使用できます。
③[マイコンピュータ]でドライブアイコンが追加されたことを確認します。

ライトプロテクトについて

スマートメディアのライトプロテクトエリアにライトプロテクトシールを貼ると、ライトプロテクト状態になり、記録・消去ができなくなります。記録・消去をするときは、シールを剥がします。
※スマートメディア用PCカードアダプタで使用する際、ライトプロテクトシールを貼らないでご使用になることを推奨します。

コンパクトフラッシュ™

■コンパクトフラッシュ用PCカードアダプタ
パソコンで使用する場合コンパクトフラッシュ用PCカードアダプタを使用することによりTYPE Ⅱ PCカードとして使用できます。

①コンパクトフラッシュをPCカードアダプタに挿入します。
②パソコンに挿入します。
挿入し認識されたら、画面の指示に従ってドライバのインストールをします。一度認識されると2回目からは挿入するだけで使用できます。
③[マイコンピュータ]でドライブアイコンが追加されたことを確認します。

フラッシュATAカード

①パソコンに挿入します。
挿入し認識されたら、画面の指示に従ってドライバのインストールをします。一度認識されると2回目からは挿入するだけで使用できます。
②[マイコンピュータ]でドライブアイコンが追加されたことを確認します。

ハードディスクカード

①パソコンに挿入します。
挿入し認識されたら、画面の指示に従ってドライバのインストールをします。一度認識されると2回目からは挿入するだけで使用できます。
②[マイコンピュータ]でドライブアイコンが追加されたことを確認します。

注意

● PCHDT-5Gtの場合、FAT32フォーマットのみ使用可能となります。

5．PCカードの取り出し方

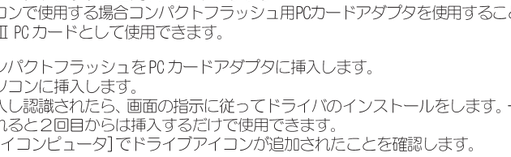
パソコンからPCカードを取り出す場合は以下の手順で取り出すか、パソコンの電源を切ってから取りだしてください。
以下はスマートメディア用PCカードアダプタの例です。表示される内容はお使いのPCカード、OSにより異なります。（以下の※の部分）

注意

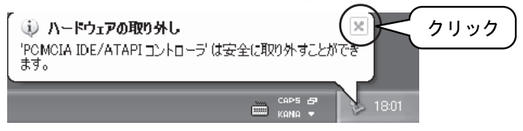
アクセス中は取り出さないでください。メディア自体のデータが破壊される恐れがあります。

Windows XPで取り出す場合

①タスクバーのPCカードのアイコンをクリックし、「PCMCIA IDE/ATAPI コントローラドライブ(F)を安全に取り外します」※をクリックします。



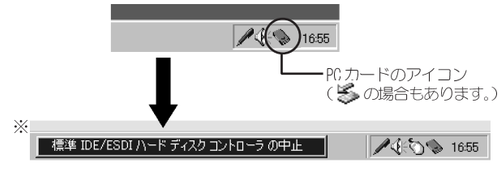
②次の画面が表示されますので、［×］ボタンをクリックします。



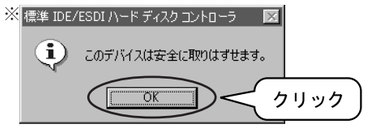
③本製品をPCカードスロットから取り外してください。（スロットのイジェクトボタンを押してください。）

Windows Me/98/95で取り出す場合（下記はWindows 98の場合）

①タスクバーのPCカードのアイコンをクリックし、「標準IDE/ESDIハードディスクコントローラの中止」※をクリックします。



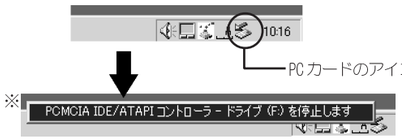
②次の画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。



③本製品をPCカードスロットから取り外してください。（スロットのイジェクトボタンを押してください。）

Windows 2000で取り出す場合

①タスクバーのPCカードのアイコンをクリックし、「PCMCIA IDE/ATAPI コントローラドライブ(F)を停止します」※をクリックします。



②次の画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。



③本製品をPCカードスロットから取り外してください。（パソコンのPCカードスロットのイジェクトボタンを押してください。）

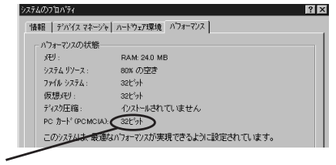
Apple Macintosh PowerBookで取り外す場合

本製品のアイコンをごみ箱にドラッグ＆ドロップしてから、本製品をPCカードスロットから取り外してください。

6．Windows Me/98/95で使用する場合

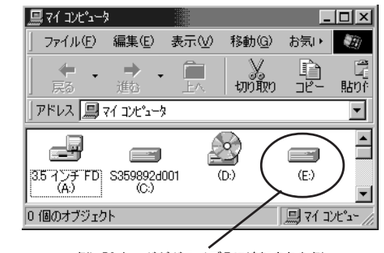
画面の表示内容は、製品により一部異なる箇所があります。以下はスマートメディア用PCカードアダプタの例です。

1 PCカードのドライバの確認をします。
Windows Me/98/95を起動し、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]-[パフォーマンス]を開き、PCカードのドライバが32ビットであることを確認してください。



32ビットになっていない場合は、[コントロールパネル]の[PCカード]アイコンをダブルクリックしてください。PCカードウィザードが起動されますので、画面の指示に従って実行していただくと32ビットに変わります。（詳細は、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。）

2 PCカードをPCカードスロットに挿入します。（挿入した時点で自動認識されます。）
挿入後[マイコンピュータ]にドライブアイコンが追加されます。追加されていればそのままご使用になれます。



注意

OS起動中にPCカードを取り外すときは終了手続きを行ってから取り出してください。方法はタスクバーの PCカードアイコンをクリックし、表示された「xxxxxxの中止」をクリック、OKボタンをクリックします。（詳細は、「5. PCカードの取り外し方」を参照してください。）

追加されない場合は以下をご確認ください。

【マイコンピュータにドライブアイコンが表示されない場合】
下記内容をご確認ください。
①[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]の[接続別に表示]をクックします。

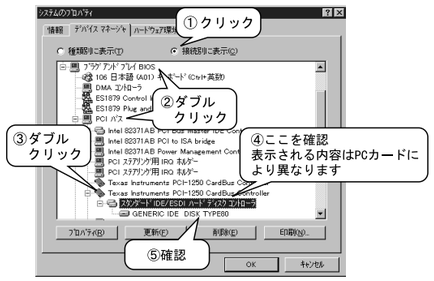
参考）PC98-NXシリーズの一部の機種で上記[デバイスマネージャ]タブが表示されない場合があります。
その場合は以下の手順を行った後に、再度手順の①から行ってみてください。
1. [スタート]-[プログラム]-[Cyber Trio-NX]-[Cyber Trio-NXセットアップ]を選択します。
（[Cyber Trio-NX]の項目が無い場合は[プログラム]-[NXユーティリティ]（または[NXの設定]）を確認してください。）
2. ［アドバンストモード］にチェックし、Windowsを一旦再起動してください。

②［プラグ アンド プレイ BIOS］-［PCI バス］の順にダブルクリックします。

③表示された中から、「XXXX CardBus XXXX」または「XXXX PCMCIA XXXX」を探しだしてダブルクリックします。

参考）「XXXX CardBus XXXX」または「XXXX PCMCIA XXXX」がない場合は、手順①を参照し、一度「種類別に表示」をクリックし、「PCMCIA ソケット」の下に表示される名称を書き留めます。
その後「接続別に表示」に戻り、書き留めた名称をダブルクリックします。

画面例（Windows95）



④［スタンダード IDE/ESDI ハードディスクコントローラ］があるかどうか確認します。
（Windows98 の場合：標準 IDE/ESDI ハードディスクコントローラ）

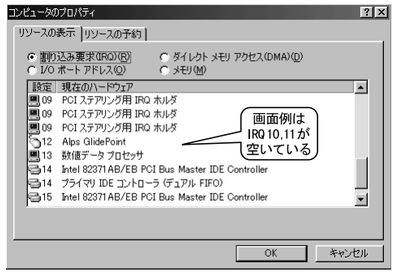
表示がない場合 ⇨ ・カードが入っていることが認識されていません。
以下をお試しください。
1）スロットを変えてみる。
2）奥までしっかり挿入する。

表示がある場合 ⇨ ・以下を確認してください。

⑤［スタンダード IDE/ESDI ハードディスクコントローラ］をダブルクリックします。
GENERIC IDE DISK TYPEXX の表示があるかどうか確認します。

〈GENERIC IDE DISK TYPEXX の表示がない場合〉
割り込み（IRQ）のリソースに空きがありません

リソースに空きがあるか確認します。
●割り込み（IRQ）の確認
①［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。
②［デバイスマネージャ］タブをクリックします。
③［コンピュータ］が選択された状態で［プロパティ］ボタンをクリックします。
飛んでいる数字が空いている割り込みの場所です。



空きがない場合は、使用していない何らかの機能を無効にし、確実に割り込みの空きを用意した上で確認してください。
（無効にできる機能、設定に関する詳細は、パソコンの取扱説明書またはパソコン本体メーカーにご確認ください。）
なお、割り込みの空きが1～2ヶ所存在する場合でも、実際は内部で使用されている場合があります。他の割り込みを使用するPCカードをお使いの場合は、そのPCカードが使用可能か確認してみてください。

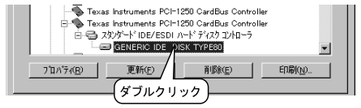
〈GENERIC IDE DISK TYPEXX の表示がある場合〉
パソコン以外の機器（デジタルスチルカメラ等）で初期化された形式とパソコンで読み込む形式の互換性がないことが原因の可能性があります。
この場合は以下の方法で、パソコンで本製品を初期化してください。

パソコンでの初期化方法（Windows Me/98/95 のみ）
以下の手順は通常は行う必要はありません。

注意 ・パソコンで本製品が認識されないなどのときのみ行います。
本方法で初期化を行うと、本製品内のデータはすべて消去されます。どうしてもパソコンで使用したい場合のみ本方法を適用してください。

注意 ・ご利用のPCカードの容量が500MBをこえる容量の場合は、以下の方法では初期化（FDISK）しないでください。
500MBの容量をこえるPCカードを使用して領域のくずれ等が発生した場合は、弊社修理係までお送りください。

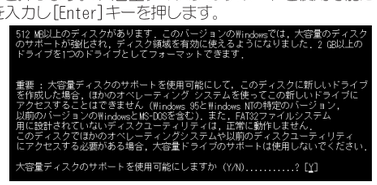
1［GENERIC IDE DISK TYPEXX］をダブルクリックします。



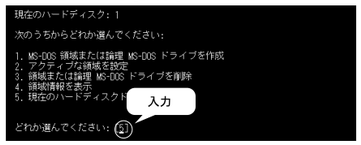
2「現在のドライブ」のドライブ文字を確認します。
→空白の場合：「Int 13 ユニット」をチェックします。
→ドライブ文字がある場合（下の画面の場合はE）
その文字がPCカードのドライブ文字になります。その場合は再度［マイコンピュータ］を開いてPCカードのアイコンがないか確認してください。



3［スタート］-［プログラム］-「MS-DOS プロンプト」をクリックします。FDISKと入力し［Enter］キーを押します。「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示されたら、Yを入力し［Enter］キーを押します。



4 次の画面が出るので、5を入力し［Enter］キーを押します。

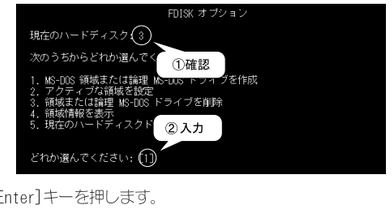


5「M バイト」の表示部分を見て、現在使用しているスマートメディアの容量のものを確認して選択します。
下の例の場合、64MBのスマートメディアを使用しているので、「63」となっている「3」番になります。3を入力し［Enter］キーを押します。
（FDISK を行う場合は若干容量が減少して表示される場合があります。）

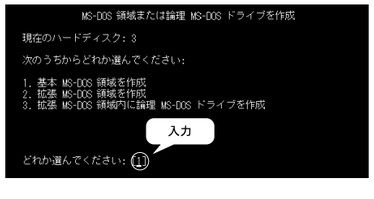
注意 ここで誤ったディスク番号を選択すると、ハードディスク等の大切なデータが消えてしまう場合があります。慎重に選択して下さい。



6 ここで、「現在のハードディスク」欄に先ほど選んだ番号が表示されていることを確認して、1を入力し［Enter］キーを押します。



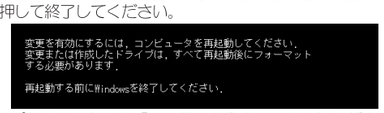
7 1を入力し［Enter］キーを押します。



8「基本MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか」と表示されたら、Yを入力し［Enter］キーを押します。

9「基本MS-DOS 領域を作成しました。」と表示されたら［Esc］キーを2回押します。

10 下の画面のように再起動を促すメッセージが表示されますが、再起動は必要ありません。
「Esc」キーを押して終了してください。



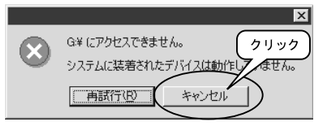
「MS-DOS プロンプト窓」の右上の「×」マークをクリックしてください。

11 タスクバーのPCカードアイコンをクリックして「スタンダード IDE/ESDI ハードディスクコントローラの中止」をクリックしてPCカードを終了します。

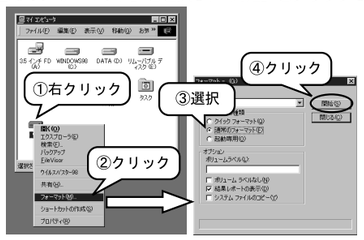


「このデバイスは安全に取りはずせます。」が表示されたら［OK］をクリックして、カードを抜いてください。

12 再度挿入すると、以下の画面が表示される場合がありますが、「キャンセル」をクリックしてください。



13 マイコンピュータに追加されたドライブアイコンを右クリックし、「フォーマット」を選択します。「通常のフォーマット」を選択し、「開始」をクリックします。



正常に終了しましたら「閉じる」をクリックします。

7.Windows XP/2000 で使用する場合

本製品を挿入すると自動的に認識されますので、画面に従ってセットアップしてください。
完了後、使用できます。

注意 Windows XP/2000 上で本製品をフォーマットしないでください。

8.Apple Macintosh PowerBook で使用する場合

Apple Macintosh PowerBook で本製品を使用する場合「File Exchange（PC Exchange）」が必要です。（標準では有効になっています。）

File Exchange、PC Exchange を有効にする方法

（File Exchange）
［Apple メニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャー］をクリックし、「File Exchange」に「X」をつけて再起動します。
（PC Exchange）
［Apple メニュー］→［コントロールパネル］で「PC Exchange」「ON」にチェックをつけて再起動します。

注意 Mac OS 上で本製品をフォーマットしないでください。

9.Windows CE で使用する場合

Windows CE の取扱説明書を参照してお使いください。
※お使いのパソコンで使用できるかを弊社ホームページにてご確認ください。

10. 修理について

●修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【お問い合わせ】をご覧ください）
故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

●修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

■お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

■修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

●修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

■メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

■これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
返送先［住所／氏名／（あれば）FAX番号］，日中にご連絡できるお電話番号，ご使用環境（機器構成、OS など），故障状況（どうなったか）

■修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

■修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時 の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

●修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送致します。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

ユーザー登録について

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている12桁のものです。（ 例： ABC12345671X ）
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。

●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/

メモリカード 取扱説明書　2003.Jan.20
© 2000-2003 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

もっと近くへ── More Communication
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●
金　沢／TEL.076-260-3661　FAX.076-260-3360
東　京／TEL.03-3254-1085　FAX.03-3254-9055
TEL受付時間／9:30～19:00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）